



～地域とともにある学校をめざして～

# 鯆コミ

R7 年度 CS通信No.10 R7.12.22



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

## 収穫祭おにぎり作り(西海小5年)



12月1日(月)、南金沢の兼平さんの田んぼで取れたお米(青天の霹靂)を使っておにぎりを作りました。この日は、兼平さんと西海小担当の地域学校協働活動推進員の工藤律子さんが声掛けした学校支援ボランティア2名と、学校を訪れ、こどもたちの活動支援を行いました。

学校支援ボランティアの皆さんは、みそ汁用の具材(大根と油揚げ)を切る時の補助をしたり、ガスの火加減を調整したりしていました。

こどもたちは、炊き立てのご飯を握るのは熱くて大変そうでしたが、水を入れたボールに手を浸しながら、手際よく握っていました。

味噌おにぎりや塩おにぎり等大小様々なおにぎりが完成し、こどもたちは、「去年6年生からもらったので、お返ししたい。」と話していました。

## 昔からの遊びで一緒に楽しもう(舞戸小1年)



12月17日(水)、「昔からの遊びを通して学校支援ボランティアさんと交流する会」が開催されました。

この交流会には、舞戸小担当の地域学校協働活動推進員の渋谷貴子さんの呼びかけで、日頃から

お世話になっている学校支援ボランティアが11名集まり、こどもたちと交流しました。

昔の遊びとして準備したのは、こま、けん玉、だるまおとし、おはじき、お手玉、あやとりの6種類です。こどもたちは、6つのグループに分かれて、遊び場所を巡り、昔の遊びを体験しました。

初めて体験する遊びばかりだったのですが、学校支援ボランティアの皆さんが丁寧に教えてあげたので、短い時間で遊び方を習得し、楽しんでいました。

後片付けを終えて1年生の教室に集合すると、感謝の意味で、学校支援ボランティアの皆さんに合奏と音読、お手紙をプレゼントしました。

こどもたちに感想を聞いてみると、「練習したらできるようになって楽しかった。」「いろいろ詳しく教えてくれてありがとう。」と、答えていました。

学校支援ボランティアの皆さんにとっては、昔の遊びを教えたり、一緒に遊んだりして楽しむ、たいへん有意義な時間となりました。

## 地域の方が指導するクラブ活動(西海小学校)



12月12日(金)は、地域の方々が指導するクラブ活動の今年度最終回でした。

音楽クラブでは、22日(月)の集会の時間に行われる発表会に向けて練習していました。講師の齊藤先生の指導の下、「青と夏」の合奏、「ダーリン」の合唱に取り組んできました。発表にあたっては、一人一人の役割を考えて練習していました。

発表会では、「来年は、ぜひ音楽クラブに入ってください。」と呼びかけるそうで、全校のみんなに音楽の楽しさを伝えようと張り切っていました。